

角度変更サイトバーについて

アーチェリーをやって上達というか筋力がついてくるとシングルを目指してサイトを変えながら距離に合わせてピンの位置を変えますよね。そこで距離が長くなるとサイトピンの位置というかブロックは下に下げていきますが、ピンに出入りについてはどうでしょうか？私も30mから90mまで見てみるとピンの出入りができたのです。

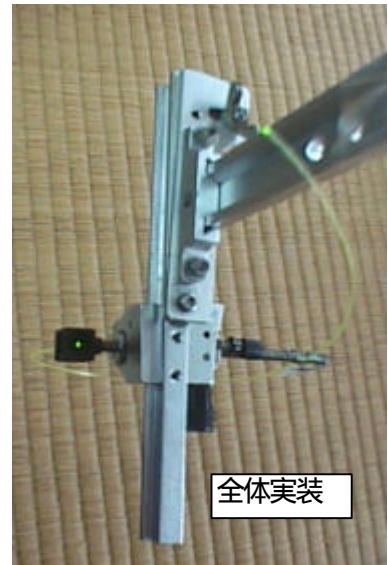
傾向としては距離が伸びるとピンを引っ込めるような方向に調整しないとまっすぐ狙えないということで、ターゲット競技の時はグラウンドですから距離が変わるごとに忘れないようにピンの出入り口ノギスで測りながらあわせていました。これで大会には特に問題はなかったのですが、フィールド競技をやってみようとするとう問題が出てきました。

それはフィールド競技ではマーク・アンマークのこともありますが、フィールド競技では各的で距離が異なり、その度にサイトの上下を調整することと同時にサイトピンの左右の出入りまで調整していると手間がかかる上に、打ち上げ、打ち降ろしや足場の傾斜などによって重心や態勢によって中心を狙っても右や左に入ってしまうことが多い。その時いちいちサイトを変えたりするのは難しいのでエイムオフをすることになる。

ここで、距離によるピンの出入り分を自動で調整するようにしてあれば、距離に対する上下とエイムオフだけ注意すればいいことになるので、サイトをあわせるのが簡単になる。

そこで距離に対するピンの出入りを複数回取って平均化した値を距離とピンの出入りでグラフに置くとほぼ直線的に変化したのでこれなら傾斜用角度変更サイトバーにすればいいことがわかった。

もちろん距離によるピンの出入りがない選手は必要ないが直線近似する場合は通常のターゲットでも有効になる。



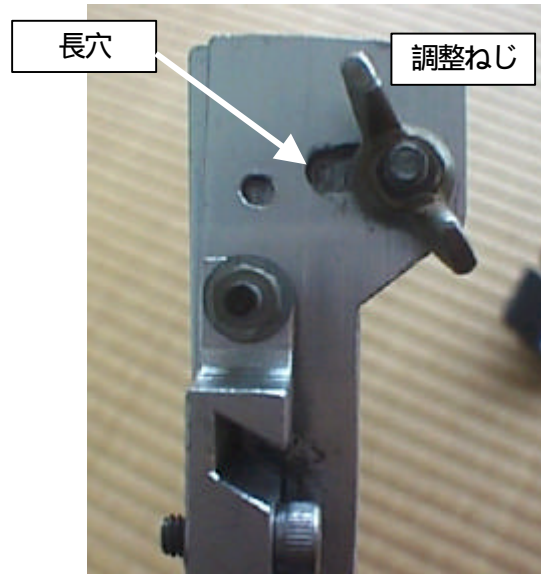
サイトは今回はKプロダクトのサイトで製作してみる。このサイトはエクステンションバーの先のサイトバーに対する金具は遊びがなく十分な傾きを作ることが出来ない。

そこで、サイトを壊さず（元に戻せるように）サイトバーとエクステンションの間に写真のようなアルミ板で作った角度調整板をはさんで取り付ければ十分な角度変更ができるようになった。

角度変更は特別な工具ができるように調整部分の固定ねじは蝶ナットを用いて手で十分締め付けられるようにした。

おまけとしてサイトバーの上下移動機能も付け加えることも出来た。これは現在使用している弓のPSEユニバーサルサイト取り付け位置がヤマハバージョンに比べ10mmも上側についていたので#40でも90mのサイトがエクステンションを下げないと取れないことがあった。

この二つを解消すべく製作したプレートがこれである。



このプレートは角度を変えられるとともに角度調整0にも簡単に戻せるため、角度についてフォーム改良などで必要なくなったとしても取り外すことはしない。エクステンションが6mm長くなったとして考えるだけで大きな問題になり得ない。

昔のサイトは角度調整できるように片方の穴がなが穴になっていたとの話もあるが、現在販売されているサイトは見た限りでは遊び程度しか調整できないようである。

2枚のアルミ板の加工品をはさみこむことでフォームによる面倒なサイト調整を簡単にできることは面白いことではないだろうか。私のように直線近似できる選手でフィールドについては特に有意義な補助器具といえると思う。

ちなみにルール上でも問題なく、サイトピン側に目障りな部分は出ませんからクレームをつけられたり、シュートの邪魔になることはない。

